



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月13日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9278 URL https://www.bookoffgroup.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 渡邊 憲博 TEL 042-769-1513
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	59,588	—	1,296	—	1,772	—	945	—
2018年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 930百万円 (-%) 2018年3月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	47.27	—
2018年3月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	39,154	11,689	29.5
2018年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 11,535百万円 2018年3月期 -百万円

(注) 当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2019年2月13日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

当社は、2018年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び第2四半期までの実績はありません。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,500	—	1,500	—	2,000	—	1,700	—	87.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2019年2月13日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	20,547,413株	2018年3月期	一株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	3,100,000株	2018年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	19,995,050株	2018年3月期3Q	一株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

（その他特記事項）

1. 当第3四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年12月31日まで）の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となったブックオフコーポレーション株式会社の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しています。
2. 当四半期連結会計期間（2018年10月1日から2018年12月31日まで）は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第3四半期連結会計期間」として記載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当社は、2018年10月1日に単独株式移転によりブックオフコーポレーション(株)の完全親会社である純粋持株会社として設立されましたが、連結の範囲については、それまでのブックオフコーポレーション(株)の連結の範囲と実質的な変更はありません。

また、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となったブックオフコーポレーション(株)の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

なお、当社は、2018年10月1日設立のため、前連結会計年度以前に係る記載はしていません。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。このたび当社グループが2021年3月期に創業30周年を迎えるにあたって中期経営方針を策定いたしました。この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げました。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのおお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げてまいります。

基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのおお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供していましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当第3四半期連結累計期間にリユース店舗事業において各店の地域特性に応じた取扱い商材の追加推進やBOOKOFF SUPER BAZAAR 広島段原店とBINGO渋谷モディ店の出店、マレーシアでの「Jalan Jalan Japan」3号店の出店他、ブックオフオンライン事業において物流倉庫内業務の効率化推進等に取り組みました。また、「ひとつのBOOKOFF」構想の第一歩としてブックオフオンラインとブックオフ店舗の会員ID統合とブックオフ公式アプリのリリリースを実施しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高59,588百万円、営業利益1,296百万円、経常利益1,772百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益945百万円となりました。

各セグメント別の売上状況は以下のとおりです。

(リユース店舗事業)

当セグメントの第3四半期連結累計期間業績は、売上高53,409百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の出店は、グループ直営店3店舗、FC加盟店2店舗となりました(閉店はグループ直営店6店舗、FC加盟店17店舗)。

「BOOKOFF」既存店において書籍、ソフトメディア等の売上高が好調に推移したことに加え、大型複合店舗の出店も実施しました。

(ブックオフオンライン事業)

当セグメントの第3四半期連結累計期間業績は、売上高5,511百万円となりました。

ECサイトでの販売が好調に推移したことに加え、ヤフーショッピング、アマゾン等販売チャネルの拡充を推進しました。

(その他)

当セグメントの第3四半期連結累計期間業績は、売上高667百万円となりました(閉店はグループ直営店2店舗)。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は23,058百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金5,165百万円、売掛金1,634百万円、商品13,352百万円です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は16,095百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産6,113百万円、無形固定資産1,324百万円、投資その他の資産8,656百万円です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は27,464百万円となりました。主な内訳は、流動負債16,851百万円(その内、短期借入金6,441百万円、1年内返済予定の長期借入金4,062百万円)、固定負債10,613百万円(その内、長期借入金7,232百万円)です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は11,689百万円となりました。主な内訳は、資本金100百万円、資本剰余金7,398百万円、利益剰余金6,436百万円、自己株式△2,343百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が2018年11月12日に公表しました2019年3月期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、2019年2月13日に公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	5,165
売掛金	1,634
商品	13,352
その他	2,908
貸倒引当金	△1
流動資産合計	23,058
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	3,841
リース資産(純額)	1,417
その他(純額)	854
有形固定資産合計	6,113
無形固定資産	
のれん	102
その他	1,222
無形固定資産合計	1,324
投資その他の資産	
差入保証金	7,585
その他	1,148
貸倒引当金	△77
投資その他の資産合計	8,656
固定資産合計	16,095
資産合計	39,154

(単位:百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2018年12月31日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	441
短期借入金	6,441
1年内返済予定の長期借入金	4,062
リース債務	345
未払法人税等	290
売上割戻引当金	586
店舗等閉鎖損失引当金	52
その他の引当金	163
その他	4,466
流動負債合計	16,851
固定負債	
長期借入金	7,232
店舗等閉鎖損失引当金	34
資産除去債務	1,769
リース債務	1,172
その他	405
固定負債合計	10,613
負債合計	27,464
純資産の部	
株主資本	
資本金	100
資本剰余金	7,398
利益剰余金	6,436
自己株式	△2,343
株主資本合計	11,590
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	51
為替換算調整勘定	△107
その他の包括利益累計額合計	△55
非支配株主持分	154
純資産合計	11,689
負債純資産合計	39,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	59,588
売上原価	23,907
売上総利益	35,681
販売費及び一般管理費	34,384
営業利益	1,296
営業外収益	
設備賃貸収入	217
自動販売機等設置料収入	109
古紙等リサイクル収入	268
その他	236
営業外収益合計	832
営業外費用	
支払利息	117
持分法による投資損失	4
設備賃貸原価	202
その他	31
営業外費用合計	356
経常利益	1,772
特別利益	
固定資産売却益	60
店舗譲渡益	26
特別利益合計	87
特別損失	
店舗等閉鎖損失	39
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	48
固定資産除却損	43
減損損失	33
災害による損失	14
その他	3
特別損失合計	181
税金等調整前四半期純利益	1,678
法人税、住民税及び事業税	460
法人税等調整額	259
法人税等合計	719
四半期純利益	958
非支配株主に帰属する四半期純利益	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	945

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 2018年4月1日
 至 2018年12月31日)

四半期純利益	958
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△39
為替換算調整勘定	2
持分法適用会社に対する持分相当額	10
その他の包括利益合計	△27
四半期包括利益	930
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	918
非支配株主に係る四半期包括利益	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年11月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得に係る事項について決議し、2018年11月13日付で東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、普通株式3,100,000株、取得総額2,343百万円の自己株式を取得しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が2,343百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	リユース店舗 事業	ブックオフ オンライン 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,409	5,511	58,920	667	59,588	—	59,588
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	1,429	1,496	297	1,794	△1,794	—
計	53,476	6,940	60,417	965	61,383	△1,794	59,588
セグメント利益又は 損失(△)	2,964	39	3,004	△47	2,957	△1,660	1,296

(注) 「その他」は、当社グループ直営の新刊書店の運営、各事業の店舗の内外装工事の企画・設計施工及びブックレビューコミュニティサイトの運営等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,004
「その他」区分の利益	△47
セグメント間取引消去	28
全社費用（注）	△1,689
四半期連結損益計算書の営業利益	1,296

(注) 全社費用は、主に当社の管理部門等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リユース店舗事業」及び「ブックオフオンライン事業」セグメントにおいて、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗及び設備で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び設備、使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗及び設備について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては33百万円であり、セグメントごとの減損損失の計上額は以下のとおりです。

「リユース店舗事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、27百万円であります。

「ブックオフオンライン事業」セグメントにおける減損損失の計上額は、5百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。